

子育てと両立する働き方改革事業【飯綱町】

地域の実情と課題

飯綱町は若年女性の割合が減少傾向にあり、特に直近の出生率は、1.40と県下最低水準にある。こうした状況を打開し、若年女性割合と出生率の向上に向けて、「女性の希望がかない、女性が輝き活躍するまちづくり」のためのアプローチの一つとして、女性の継続就業支援や働き方改革に取り組む。

目的・目標

- ①働き方改革や女性活躍のための総合的支援体制の在り方等について整理とまとめ(H29年度ワークセンターの開設等)
- ②働き方改革モデル企業の社内大学の構築(H29年度より開校)及び企業向け働き方改革研修会の実施(参加企業12社)
- ③ワンストップ支援相談窓口設置(就労相談支援員の配置)
- ④子育て中の女性のニーズに応じた就業支援の実施(参加人数:セミナー参加者46名、パソコン研修会定員16名)

事業の特徴

- ①働き方改革に関する検討会開催(こども子育て応援会議)
 - ・女性活躍推進に向けた課題の検討と改革内容の整理
- ②働き方改革モデル企業の構築(株)サンクゼール
 - ・研修等の開催、専門コンサルタントの派遣等
- ③ワンストップ支援相談窓口の設置
 - ・就労相談支援員の配置
- ④子育て女性就労支援
 - ・ニーズ調査、スキルアップセミナー、研修会等

連携団体

本事業は飯綱町総合戦略に基づき実施した事業である。また飯綱町商工会や信濃町との連携により企業向け働き方改革研修会を実施。イベント等にはモデル企業の(株)サンクゼールに積極的に参加をしてもらい、チャレンジ企業の増加に繋げる。

事業の効果

子育て中の女性を対象としたニーズ調査の結果(回答率63%)を基に、就職支援セミナーやパソコン研修を実施した。また町内企業向けに働き方改革研修会を開催した。それにより、働き方改革の導入を検討した企業が増加し、働く意欲のある子育て中の女性とのマッチングに繋げ、女性が自信を持って、いきいきと活躍する地域づくりへの期待がされる。

今後の課題

働き方改革モデル企業(株)サンクゼールの活動をPRし、他企業に働き方改革を横展開することで、女性の働ける環境を整備し、女性の就業率を上げる。女性が住みたいと思う町づくり。

事業の概要

こども子育て応援会議

働き方改革と女性活躍推進に向けた課題の検討（子育て中の女性に対するニーズ調査の結果や、町内に働く環境を整備するための検討）



相談窓口

働く意欲がある女性のための、就労相談支援員による求職相談を実施。平成29年度からは、企業の求人相談も実施。



働き方改革

従来の男性中心の職場環境を改め、男性も家事や育児に積極的に参加することで、女性の職場復帰や社会進出を促す。(株)サルクゼールが、モデル企業として働き方改革にチャレンジし、研修会の実施や専門コンサルタントの派遣を実施。平成29年度より社内大学を開校(カリキュラムに子育てと仕事の両立につながる各種研修を実施)



制度説明、Disc行動分析ツールを活用した研修等、人間関係やストレスを軽減することで離職率低下につながり、育児休業など各種制度を利用しやすい職場作りを目指す。

ママさん就労支援

子育て中の女性を対象に仕事に関するニーズ調査を実施。その結果に基づき、就職支援セミナー(全6回)、パソコン研修会(全6回)の実施。また、主に町内企業に働き方改革研修会を実施し、短時間・短期間労働や在宅ワーク、ワークシェアなど多様な働き方の導入を検討してもらい、今後働く意欲のある子育て中の女性とのマッチングイベント等に繋げる。平成29年度より「飯綱町ワークセンター」を開設する。(ワークセンター内機能：相談窓口・ワークスペース・託児スペース)

